

施策目標個票

(国土交通省4-35)

施策目標	自動車運送業の市場環境整備を推進する	
施策目標の概要及び達成すべき目標	将来にわたり、安全なトラック輸送サービスを安定的に提供できるよう、トラック運送事業の健全な市場環境の整備を推進する。	
評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) ①目標超過達成 (判断根拠) 業績指標101については、令和5年度も貨物自動車運送事業安全性優良事業所の認定数が増加し、認定率は現在のトレンドで推移すると見込まれ、目標年度に目標値を大幅に上回って達成することが想定されるため。
	施策の分析	荷主を構成員に含めた協議会等を通じて、荷待ち件数が特に多い品目の輸送についての課題と対策のガイドラインをまとめるなど、トラックドライバーの労働環境の改善を図る等、輸送の安全の確保に向けた取組を行った結果、堅調に数値が推移している。
	次期目標等への反映の方向性	貨物自動車運送事業安全性優良事業所の認定を受けることのインセンティブの導入とともに、荷主等との適正取引の推進や様々な安全の確保に係る施策を講じたことにより、認定を受けた事業所数が増加してきた実績を踏まえ、令和5年度の目標値の達成に向けて引き続き同様の取組を継続する。

業績指標	(101) 貨物自動車運送事業安全性優良事業所の認定率 *	初期値	実績値					評価	目標値
		H30年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度
		29.5%	29.5%	30.2%	31.2%	32.0%	33.0%	A	32%
	年度ごとの目標値		-	-	-	-			
参考指標	(176) トラック運転に従事する若年層(15歳~29歳)の割合	初期値	実績値					評価	目標値
		R2年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		R7年度
		10.3%	-	-	10.3%	10.4%	10.4%		全産業の割合(直近の参考値(令和4年):全産業:16.4%)
	年度ごとの目標値		-	-	-	-			

施策の予算額・執行額等【参考】	区分		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度要求額
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	117	136	151	98	
		補正予算(b)	0	110	170		
		前年度繰越等(c)	0	0	110		
		合計(a+b+c)	117	246	431	98	
			<0>	<0>	<0>	<0>	
	執行額(百万円)		102	94			
	翌年度繰越額(百万円)		0	110			
不用額(百万円)		15	42				

学識経験を有する者の知見の活用	国土交通省政策評価会(令和5年6月26日)
-----------------	-----------------------

担当部局名	自動車局	作成責任者名	貨物課(課長 小熊 弘明)	政策評価実施時期	令和5年8月
-------	------	--------	---------------	----------	--------

業績指標 101

貨物自動車運送事業安全性優良事業所の認定率*

評価

A	目標値：32%（令和5年度） 実績値：33.0%（令和4年度） 初期値：29.5%（平成30年度）
---	---

(指標の定義)

トラック運送事業を営む事業所のうち、貨物自動車運送事業安全性優良事業所として認定された事業所の割合。

(目標設定の考え方・根拠)

トラック運送業界は中小・零細事業者が極めて多く厳しい競争環境にあり、また、荷主に比べて立場が弱い
ため、法令上の義務を免れて不適正に運賃・料金を引き下げる事業者や、過労運転・過積載等の違法行為を行う
事業者が多い。

このため、貨物自動車運送事業法は、同法及び同法に基づく措置の遵守等を図るための民間団体等による自主
的な活動（貨物自動車運送適正化事業）を促進することにより、こうした問題を是正し、輸送の安全を確保する
とともに、トラック運送事業の健全な発達を図ることとしている。

係る事業の主要な取組として、貨物自動車運送事業法に基づき国土交通大臣が指定した貨物自動車運送適正化
事業実施機関は、安全に対する法令の遵守状況、事故や法令違反の状況、安全に対する取組の積極性、社会保険・
労働保険への加入が適正になされていること等の評価項目・要件等の基準を満たす事業所を貨物自動車運送事業
安全性優良事業所として認定している。

貨物自動車運送行政では、これまで、本認定を受けることのインセンティブを導入するとともに、荷主等との
適正取引の推進や様々な安全の確保に係る施策を講じることにより、認定を受けた事業所数を増やし、もって輸
送の安全を確保するとともに、トラック運送事業の健全な発達を図ってきた。

このため、本事業所の認定率（トラック運送事業を営む営業所のうち、貨物自動車運送事業安全性優良事業所
として認定された事業所の割合。）を業績指標として設定することにより、貨物自動車運送事業法に基づく貨物自
動車運送適正化事業の達成の進捗を計ることとする。

(外部要因)

(他の関係主体)

全国・地方貨物自動車運送適正化事業実施機関（(公社)全日本トラック協会、各都道府県トラック協会）

(重要政策)

【施政方針】

なし

【閣議決定】

なし

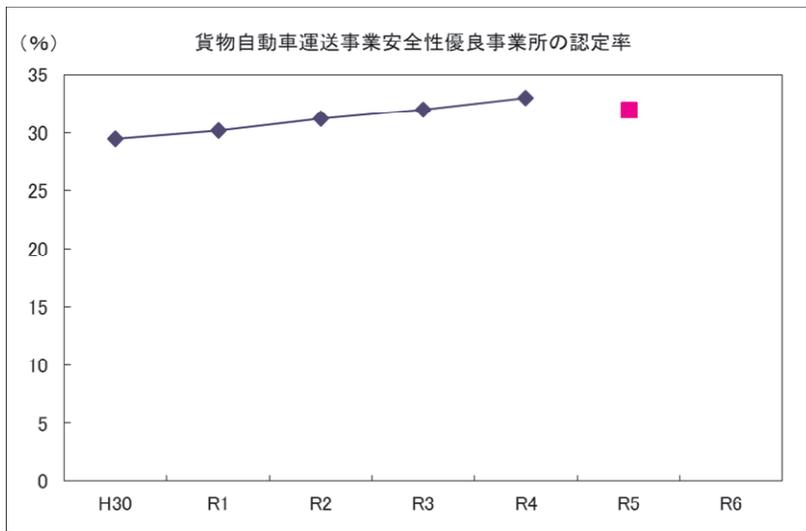
【閣決（重点）】

なし

【その他】

なし

過去の実績値	(年度)			
H30	R1	R2	R3	R4
29.5%	30.2%	31.2%	32.0%	33.0%



主な事務事業等の概要

事業の主要な取組として、貨物自動車運送事業法に基づき国土交通大臣が指定した貨物自動車運送適正化事業実施機関は、安全に対する法令の遵守状況、事故や法令違反の状況、安全に対する取組の積極性、社会保険・労働保険への加入が適正になされていること等の評価項目・要件等の基準を満たす事業所を貨物自動車運送事業安全性優良事業所として認定している。

貨物自動車運送行政では、これまで、本認定を受けることのインセンティブ（「IT点呼の導入」や「保安基準緩和自動車の有効期間の延長」など）を導入するとともに、荷主等との適正取引の推進や様々な安全の確保に係る施策を講じることにより、認定を受けた事業所数を増やし、もって輸送の安全を確保するとともに、トラック運送事業の健全な発達を図ってきた。

測定・評価結果

目標の達成状況に関する分析

（指標の動向）

令和4年度における実績値は33.0%となっており、堅調に推移しているところ。

（事務事業等の実施状況）

荷主を構成員に含めた協議会等を通じて、荷待ち件数が特に多い品目の輸送についての課題と対策のガイドラインをまとめるなど、トラックドライバーの労働環境の改善を図る等により、輸送の安全の確保に努めているところ。

課題の特定と今後の取組みの方向性

本指標の実績値のトレンドから、目標年度に目標達成することが見込まれることからA評価とした。

本認定を受けることのインセンティブの導入とともに、荷主等との適正取引の推進や様々な安全の確保に係る施策を講じたことにより、認定を受けた事業所数が増加してきた実績を踏まえ、引き続き、令和5年度の目標値の達成に向けてトラック運送事業者の輸送の安全を確保するための取組（運輸安全マネジメント等の実施、ASV（先進安全自動車）の導入支援等）を推進する。

担当課等（担当課長名等）

担当課：自動車局貨物課（課長 小熊 弘明）